

「柿から地方創生プロジェクト～挑戦、そして世界へ～」

<事業者の概要>

1. 所在地：岡山県倉敷市玉島乙島7 1 3 2
2. 代表者：代表取締役社長 友國 正明
3. 主な品目：干し柿加工菓子、フルーツゼリー、羊羹等
4. 主な輸出先国・地域：台湾、香港、タイ、アメリカ等
5. 事業概要：1971年創業、干し柿加工菓子、瀬戸内フルーツゼリー等の製造・販売業。柿から干し柿、干し柿加工菓子までの一貫した生産ラインを持ち、干し柿加工に特化した技術を持つ。近年、農業にも参入。日本全国のスーパーや量販店、道の駅等で販売を展開。



ロングセラーのお菓子「やま柿」



岡山特産「沢田の富有柿」

【輸出の取組内容】

- 2016年、合併会社を通じて当社及び他社商品の輸出を開始。
- 2017年にタイ、2018年に香港、台湾向け輸出を開始。
- 2019年にアメリカ、2020年にベトナム、シンガポール、2021年に韓国、2022年にフランス向け輸出を開始。
- 積極的に展示会等に参加し、輸出事業者が手掛けるサブスクリプションサービスで、複数社のお菓子で詰め合わせる商品への参加や、自社産の生鮮の柿の輸出開始など新規販路を開拓。

【取組経緯】

- 2003年、中国に合併会社を設立し、その会社に原料としてゆずの粉末を輸出開始。
- 国内の人口減少・お土産需要減による市場の縮小が想定されることから、海外顧客の獲得・拡大を検討。

【課題と対応方法】

- 海外バイヤーから求められる衛生管理基準を満たしていない。
→2021年に国の補助事業を活用して国際衛生基準JFS-B認証を取得し、海外販路を拡大。
- 賞味期間が短い干し柿加工品が主力なため、年間を通じた販売・輸出ができない。
→冷凍による賞味期間の延長や、地元瀬戸内地域特産の白桃・ぶどう・レモン等を使用した常温で保存ができるゼリー商品を開発し、周年での販売・輸出が可能となった。

【実績】

輸出額 (万円)		輸出国・地域割合 (%)	
2021年度	152	アメリカ	59.7
2022年度	230	台湾	29.7
2023年度	800 (見込)	その他	10.6

【今後の事業展開】

- ✓ 「柿から地方創生」の理念を掲げ、海外で評価の高い「日本のくだもの」として、柿の農産商品のラインナップを拡充し、輸出を拡大する。
- ✓ 2021年、2022年に新植した柿畑 (約1ha) では、2026年から収穫が本格化する予定。
- ✓ 干し柿は乳製品やお酒と相性が良いドライフルーツ。調理法の啓蒙を行い、食材としての新たなジャンルを開拓したい。